

キャラクター  
世界観

作成：平成19年4月4日

なみすけ  
NAMISUKE



Contents  
もくじ



02 | 「なみすけ」世界観 序文

An Outline

03 | 「なみすけ」ストーリー

- 04 | ここではないどこかへ
- 06 | 願いを叶える船に乗って
- 08 | 離れてはじめてわかること
- 10 | 友だちと出会い、まちを知る

A Profile

12 | 「なみすけ」の世界観

- 13 | なみすけの生い立ち
- 14 | なみすけの旅立ち
- 16 | なみすけとすぎなみ
- 17 | なみすけとこれから

A Profile

18 | 「スピト」の世界観

- 19 | スピトの生い立ち
- 20 | スピトとなみすけ

A Profile

21 | 「タネタ」の世界観

- 22 | タネタの生い立ち
- 23 | タネタとなみすけ

Character Distribution Chart

24 | キャラクター分布図

## Preface 序文



### ■すぎなみアニメキャラクターについて

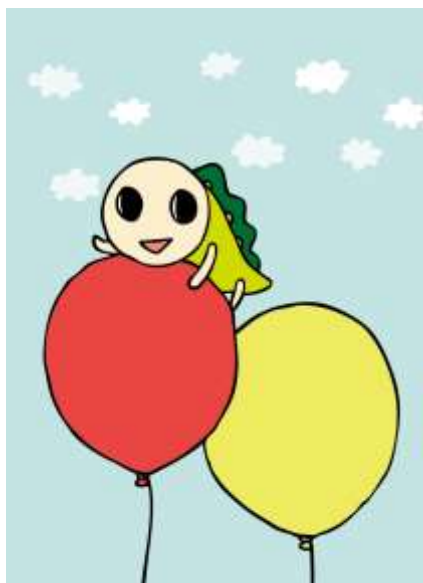
すぎなみアニメキャラクターは、「すぎなみの輝き度」向上の取組み(杉並の魅力を発信する運動)の一つとして、平成18年に公募で選ばれました。

親しみが沸きやすいキャラクターは、杉並区の魅力を内外に発信する親善大使の役割を果たすことになるでしょう。また、区民と区とをやさしくつなぐコミュニケーションツールとしての活躍も期待されます。

本稿は、「なみすけ」を中心としたキャラクターたちが、“本当に生きているとしたら”どんな場所に住んでいて、どのような性格なのか、どのような物語があるのか、その「世界観」を記したものです。

キャラクターもいわば生き物です。多くの区民の皆さまに愛されるためには、キャラクターが持つ「世界観」を大事にして、育てていくことが必要です。

なみすけの「世界観」を共有し、育て広げていくことができれば幸いです。



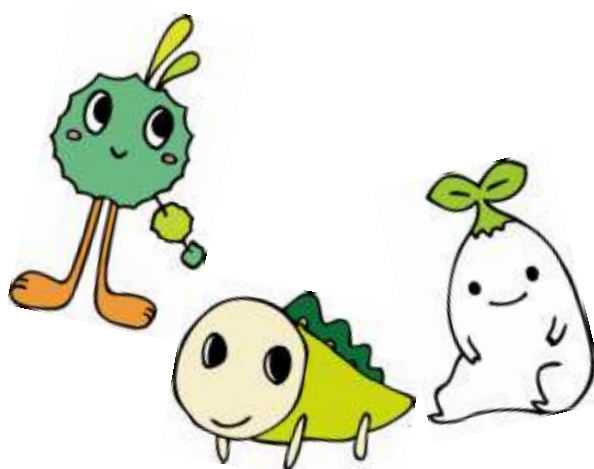
## An Outline あらすじ

### なみすけストーリー

なみすけは、スギナミザウルス島に住んでいた妖精。


島を船で旅立ち、憧れていた杉並区に辿り着いた。

スピトやタネタなど妖精の友だちと出会ったり、杉並区でさまざまな発見をしたりしながら、楽しく暮らしていく。



友だちと出会ったり、さまざまな発見をしたり。

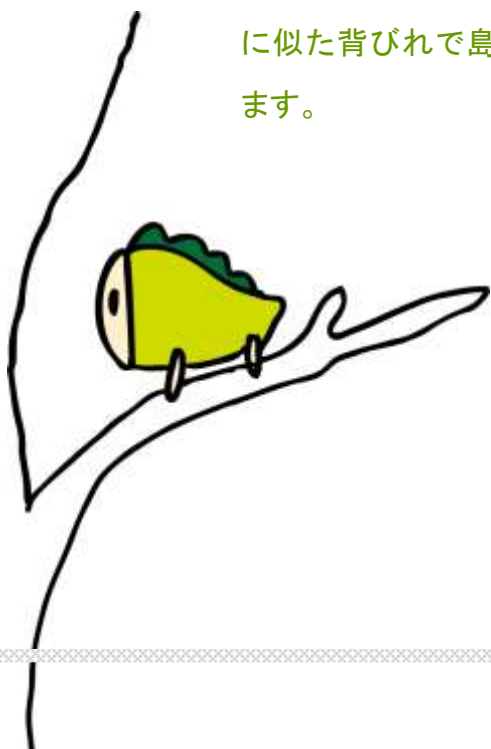
Somewhere No Here

ここではない  
どこかへ 

なみすけストーリー


**の**んびりぐるっと眺めてみると、いままで気付  
かなかったアレコレが見えてきます。  
日本からほど近い場所にある小さな小さな  
「スギナミザウルス島」も、そのなかの  
ひとつ——。

**緑**豊かなスギナミザウルス島で暮らしている  
のは、空気をきれいにする妖精・スギナミザウ  
ルスたち。  
毎日みんなで仲良く散歩しながら、杉の並木  
に似た背びれで島中の空気をおいしくしてい  
ます。



のんびりぐるっと眺めてみるど……

Somewhere No Here

ここではない  
どこかへ 

なみすけストーリー

**な**かでもひとときわ元気よく背びれを揺らして  
いるのが、なみすけ。

島で一番高い杉の木のでっぺんから、外の世  
界を眺めるのが、なみすけの日課です。

「なみきおじさんが言った“東京”って、あの  
へんかな。行ってみたいなあ」

なみきおじさんのおじいさんが旅した日本。そ  
の話を思い出しながら、小さなカラダいっぱい  
想像をふくらませて、海の先に広がる世界に  
ワクワクするひとときです。

「に一たん。なみすけに一たん！」

**夢**見ごこちのなみすけをいつも現実に戻  
すのは、妹・ナミーが呼ぶ声。

まだ高い木に登れないナミーは、置いてきぼり  
を食ってうらめしそうな顔をしています。

「ごめん、ごめん。おわびに、あとで頭に飾る  
可愛い花を摘んでくるからね」

海の先に広がる世界にワクワクするひととき

Realizes The Wish

## 願いを叶える 船に乗って



なみすけストーリー

**あ**る日、いつもと同じように木の上から海を眺めていたなみすけの目に見慣れないものが飛び込んできました。

「あ、あれはきつと……“船”だ！」


島の周りに不思議な風が吹く「スギナミザウルス島」には、船が辿り着くことはほとんどありません。なみすけも、なみきおじさんが描いてくれた絵でしか見たことがありませんでした。

「ナミー、ごめんね。今日は、ひとりで先に家に帰っていて」

**泣**きそうな顔をしているナミーを尻目に、足がもつれて何度も転びながらも、なみすけは船が見えた海岸まで走り続けます。

あ、あれはきつと……  
“船”だ！



Realizes The Wish  
願いを叶える  
船に乗って 

なみすけストーリー

「わー！ 本物の船だ」

実際に見る船は、想像していたよりも小さかったけれど、なみきおじさんの絵と同じカタチをしていました。

「ちょっとだけなら乗ってみてもいいかな」

初めて乗る船の中を、目を輝かせながら、あちこち見て回るなみすけ。

しかし、たくさん走ったり、歩き回ったりしたせ

いか、なんだか急に眠たくなってきます。

「船の上は、ゆらゆらしていて、お日さまがポカポカあたって、気持ちがいいな。このまま“日本”へ行けたらいいのに……」


その願いを叶えるかのように、幸せそうな顔

で眠るなみすけを乗せた船は、ゆっくりと「スギナミザウルス島」を出発していきました。

このまま “日本” へ行けたらいいのに……



After It Parts

離れて初めて  
わかること 

なみすけストーリー

「あれ!? ここは、どこなんだろう……。スギナミザウルス島でも“日本”でもないことは確かだけど」

目が覚めたなみすけが最初に見たのは、背の高いビルが建ち並ぶ港からの景色でした。

なみきおじさんが話してくれた日本は、お城が建っていて、チョンマゲという髪型をした人間が歩いているところ。

「そうそう、山頂にいつも雪が積もった高い山もあるんだっけ」


なみすけは、スギナミザウルス島を離れてしまったことよりも、まずは辿り着いた場所が憧れていた“日本”ではなさそうなことに、ガッカリしていました。

「まあ、とにかく歩いてみよう」

船を降りて、あてもなくがむしゃらに歩いているうちに、なみすけはどんどん故郷が恋しくなっています。

まあ、とにかく歩いてみよう

After It Parts

離れて初めて  
わかること 

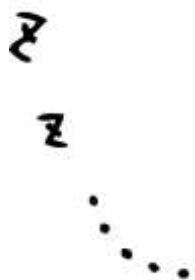
なみすけストーリー

「ナミーは、ちゃんとひとりで家に帰れたかな。パパやママは、ぼくがいなくなって、心配してるだろうなあ」  
スギナミザウルス島で暮らす家族や友だちの顔が、次々と思い浮かんで涙ぐむなみすけ。


日が落ちて、あたりが暗くなり始めた頃には、なみすけも疲れきってしまいました。「ん!? ここは、少しだけスギナミザウルス島に似ているかもしれない」  
夢中で歩き続けたなみすけが、ひとやすみする場所を選んだのは、杉並区にある公園です。

朝になって、近所の子どもの声で目覚めたなみすけは、ぐっすり眠ったことで、持ち前の元気を取り戻していました。「せっかく来たんだから、ここでしばらく暮らしてみよう！ 楽しくて快適な場所だったら、家族や友だちも呼べるといいな」

ここは、  
少しだけスギナミザウルス島に似ている



Meets The Friend,  
Knows The Town

友だちと出会い  
まちを知る 

なみすけストーリー

スギナミザウルス島で暮らしていたときと同じように、毎日散歩しながら、元気よく背びれを揺らすなみすけ。でも、なみすけ一匹だけでは、空気はなかなかおいしくなりません。人間とも、もっと仲良しになりたいと思っているのに、道行く人たちはみんな忙しそうで、なみすけに気付かないことが多いのも残念です。なみすけは、見知らぬ人ばかりが住む“日本”に来て初めて、新しい場所に馴染むのは簡単じゃなくて、ひとりぼっちはとても心細いものなんだと知りました。

「やあ！ キミはどこから来たの？」


ある日、ケヤキ並木が美しい通りを歩いていると、ふさふさした緑色の妖精に声を掛けられます。

「ボクは、スピトっていうんだ。もうずっと長い間このまちに住んでいるんだよ」

スピトは、なみすけよりもずいぶん年上で、なみきおじさんと同じくらい物知りな妖精でした。

ひとりぼっちはとても心細いものなんだ

Meets The Friend,  
Knows The Town

友だちと出会い  
まちを知る 

なみすけストーリー



友だちが増え、  
まちを楽しむこともできるように

ここが日本で、しかも立派な杉並木があるとよく話に聞いていた場所だということもわかりました。

スギナミザウルス島にいるときから、憧れていたところにいると知ったなみすけは、ますます散歩が楽しくなります。はじめての友だち・スピトは、まちに詳しくて、いろいろなお祭りやイベントにも誘ってくれます。

なみすけのお気に入り、昼間の小学校のグラウンド。子どもたちと遊ぶのが、嬉しくてたまりません。

タネタと出会ったのも、小学校のグラウンドの片隅でした。最初は、全然動かないでニコニコしているだけなので見逃していましたが、いきなりしおれたので気になって近付いたら、リンゴの木の芽の妖精だったので、ビックリです。

なみすけは、友だちが少しずつ増え、まちを楽しむこともできるようになってきたので、以前のように寂しい気持ちにならなくなっていきました。

## A Profile

# プロフィール

### なみすけの世界観

名前

なみすけ

年齢

20歳

誕生日

10月1日  
(杉並区誕生の日)

大きさ

子犬くらい

出身地

スギナミザウルス島

好きなもの

おいしい空気、リンゴ

趣味

散歩、人間観察

苦手なもの

カラス

特技

背びれで空気を  
きれいにすること

性格

ほがらか。あまり怒らず、怒るようなことがあると、まず悲しんでしまう(我慢強い)

行動

好奇心旺盛だが、おちょこちょい(ちょっと不器用だけどかわいい動き)。結果的に他人にちょっと迷惑を掛けることはあっても、本人に悪気はない。カラダはやわらかく、体表には弾力があり、しっぽを支えにたまに立ち上がることもある。背中からしっぽにかけては、カバンやリンゴなどものが乗せられる。

## Growth

# 生い立ち

## なみすけの世界観

### ■スギナミザウルス島の場所

日本からほど近い場所にある島だが、島の周りの潮や風の流れが変則であるため、外部から島にたどり着くことはできない。

### ■スギナミザウルス島の大きさ

杉並区と同じくらい(34.02平方キロメートル)

### ■スギナミザウルス島の環境

杉の原生林が中心にある。四季があり、夏は暑く、冬は寒い。

# Island



## Growth

### 生い立ち



#### なみすけの世界観

#### ナミー

5歳の妹。頭に花をつけている。  
お兄ちゃんが大好き。



#### お父さんとお母さん

スギナミザウルス島にナミー  
と一緒に平和に暮らしている  
が、あまりストーリーには出て  
こない控えめな存在。



#### なみきおじさん

年齢不詳。ヒゲがチャームポイント。  
口数が少なく、非常にクールだが、  
なみすけにいろいろなことを教えてくれ  
たり、相談にのってくれるやさしい  
おじさん。ジャズ好き。

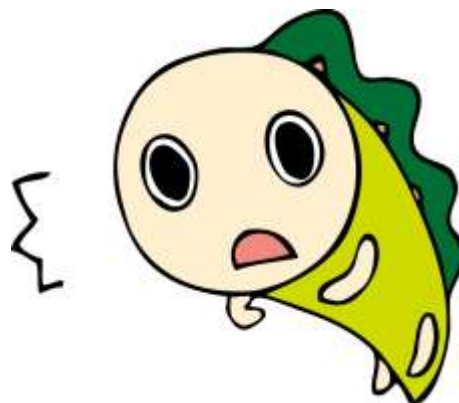
#### スギナミザウルスたち

恐竜に似ているが、背びれで空気をきれいにすることができる杉の木の妖精。花  
粉は撒き散らさない。雑食性だが、肉類はほとんど食べない。日々お散歩をしなが  
ら、気に入った木の上で眠る。スギナミザウルス語で言葉を交わす。

## Start 旅立ち



### なみすけの世界観



#### ■ 船

毎日、スギナミザウルスで一番大きな木の上から  
“日本”を見ているなみすけの姿を見て、  
なみすけのパパとママが 20 歳になるプレゼントと  
してこっそり贈ったもの。  
「離れて暮らすのは寂しいけれど、  
なみすけが一人前のスギナミザウルスになるため  
ですから」(なみすけパパ談)

#### ■ 船の乗客

なみすけ以外いない。  
船は、なみすけの願いに従って自然に動く。

#### ■ 船の大きさ

30人乗りの遊覧船程度



## Suginami すぎなみ

### なみすけの世界観

#### ■東京湾から杉並区へ

移動は、徒歩。なみきおじさんから、立派な杉並木があった現・杉並区周辺の話をよく聞かされていた。ただ、実際に日本を旅していたのは、なみきおじさんのおじいさんで、江戸時代。チョンマゲもないし、誰も着物も着ていないしなどなど、なみすけは話と違う街の様子から、最初は自分が日本ではない場所に辿り着いたと思ってしまう。その後、風の妖精「スピト」からここは日本だと聞かされる。



#### ■杉並区に到着

一番最初に辿り着いたのは、「蚕糸の森公園」。ヒマラヤスギの木の上で眠った。中杉通りを歩いているときに、風の妖精「スピト」に遭遇。日本に辿り着いたことを知る。その後、「青梅街道」に杉並木がなくなっていることにショックを受けるが、区役所近くの中杉通りのケヤキ並木は気に入ったので、よく散歩している。

#### ■杉並区内で眠るとき

昼間は、基本的に散歩をしている。寂しがりやなので、子どもたちや近所の人が日常的に立ち寄る小さな公園が好き。平日の昼間は、子どもたちが公園にいないので、小学校のグラウンドに行くのもお気に入りのルートのひとつ。たまたまグラウンドの鉢植えの隅にいた「タネタ」に出会う。夜は、眠くなったときに辿り着いた小さな公園の木の上で眠る。

#### ■杉並区内での事件

まだ9月に来たばかりなので、何もわからない。10月に中杉通りで行なわれた「阿佐ヶ谷ジャズストリート」は、なみきおじさんのことを思い出して、ちょっとウルウル目に涙を浮かべながら見ていた。「スピト」と遊ぶときに、阿佐谷パールセンターに立ち寄ることも多い。

#### ■杉並区内の移動


基本は徒歩。ただ、すぎ丸バスにはちょっと興味がある。

#### ■杉並区民との関係






区民とは仲良くしたいけれど、急いでいる人や心にゆとりがない人にはなみすけは見えない。公園などでのんびりしている人に、たまに見つけてもらえるが、見なかったことにされてしまうこともある。

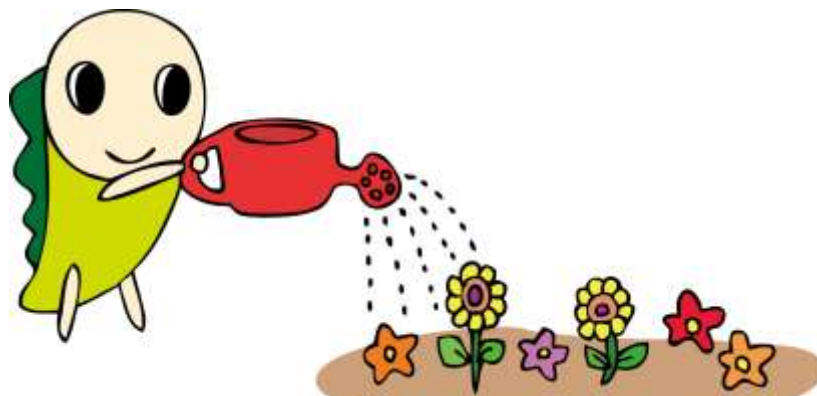


Future

これから 

なみすけの世界観

-  杉並区民と仲良くなりたい、出会いたい
-  杉並区のいろいろな場所に行ってみたい
-  杉並区のさまざまなイベントに参加したい
-  杉並区を区民と一緒に散歩したい
-  杉並区をもっと住みよいまちにしていきたい



A Profile  
プロフィール 

スピトの世界観

名前

スピト

年齢

年齢不詳  
(歳を取らない)

誕生日

7月15日  
(高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪駅の開設日)

大きさ

なみすけと同じくらい  
カラダはフサフサ

出身地

杉並区

好きなもの

情報収集、雨、木陰

趣味

散歩、おしゃべり、  
ショッピング、おしゃれ

苦手なもの

じっとしていること

性格

何事にも楽観的で、  
マイペース

特技

イライラしている人に爽やかな風をおくこと。杉並区を案内すること

行動

足が速い。走り始めると、目にもとまらぬ速さで、緑の風のようになる。  
退屈すると、かわいいイタズラがしたくなる。

Growth  
生い立ち 

スピトの世界観

生まれた場所

現在の杉並区青梅街道沿いに  
あった杉並木で生まれた。

生まれた時期

1800年頃の江戸時代

家族や仲間

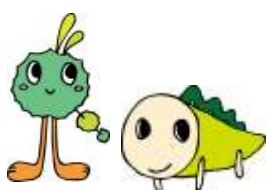
杉並区に杉並木がなくなってしまったので、杉がたくさんある地域に  
引っ越してしまっただ。  
他にもいた仲間たちともバラバラになってしまっただが、生まれた場所を離れたく  
なかつたスピトは杉並区に残った。中杉通りに、1952(昭和 27)年に植えられた  
ケヤキ並木がとても気に入っている。

風の妖精

杉並区をぐるぐると回りながら、面白いことや役に立つことを探している。  
イライラしている人に爽やかな風をおくってリラックスさせたり、  
悩んだり迷ったりしている人の耳元でよいアイデアをささやいてあげたりする。  
ただ、ちょっと気まぐれなところもあり、退屈するとかわいいイタズラを  
仕掛けてくる場合も。

Namisuke  
なみすけ 

スピトの世界観



なみすけに出会った場所

中杉通りのケヤキ並木。杉並木が見つからずにガッカリしているなみすけに声を掛ける。なみきおじさんのおじいさんに出会ったことを話をしたり、最近の杉並区のことをいろいろと教えたりと、なみすけの世話を焼くことに。



スピトから見たなみすけ



自分がまだ幼い頃に出会った友だち(なみきおじさんのおじいさん)の面影を重ねつつ、右も左もわからないなみすけが心配でならない。



なみすけから見たスピト



杉並区での親代わりの存在。ただ、年上のわりに子どもっぽイタズラをするスピトに、ちょっとハラハラする場面も。

A Profile  
プロフィール 

タネタの世界観

名前

タネタ

年齢

5歳

誕生日

3月27日  
(東村、吾妻町合併日)

大きさ

植木鉢に入るくらい

出身地

群馬県東吾妻町

行動

笑っているか、  
寝ているかのどっちか

好きなもの

水と太陽、  
やさしい言葉

趣味

寝ること

特技

芽を伸ばして、  
人を喜ばせること

性格

だいたいニコニコしているが、落ち込んで、しおれるとなかなか元に戻らない

苦手なもの

同じ天気がずっと続くこと、乱暴に扱われること。大きな虫や犬、猫

Growth  
生い立ち 

タネタの世界観

生まれた場所

群馬県東吾妻町。  
杉並区の友好都市のひとつ

生まれた時期

芽が出てから、まだ5年目

家族

群馬県東吾妻町で暮らしている。お父さんやお母さんはすっかり成長して、リンゴの実をつけ、地元の人々を楽しませている。移動は苦手なので、たぶんもう二度とタネタには会えないだろうと、悲しい気持ちになることも。

タネタと仲間たち

東吾妻町から一緒についてきてくれた「ジョロ」と「ハチ」とともに、暮らしている。かれらは、いわゆる育ての親といったところ。実は、タネタはリンゴの芽。花をつけるようになるまでに、相性のよい品種の相棒を見つけないと、成長しても実をつけることができない。先のことを考えると、なかなか成長しない自分に対し、悲観的になることもあるが、ぐっすり眠ると次の日には元気になっていることが多い。かなりの甘えん坊で、ニコニコしながら、わがママを言うことも。

Namisuke  
なみすけ 

タネタの世界観



なみすけに出会った場所

杉並区内の小学校のグラウンド。あさがおを育てている学年の鉢植えに混ざって、日光浴をしていたところ、なみすけに出会った。ニコニコしながらも、たまに悲しそうな表情をするタネタを見ていると、故郷の妹ナミーを思い出すなみすけ。面倒見のよいなみすけをお兄ちゃんのように慕うタネタ。甘えたりわがまを言って困らせたりもするが、いつかちゃんと相棒を見つけて、なみすけに美味しいリンゴを食べさせてあげるのが夢。



タネタから見たなみすけ



やさしいお兄ちゃん




なみすけから見たタネタ

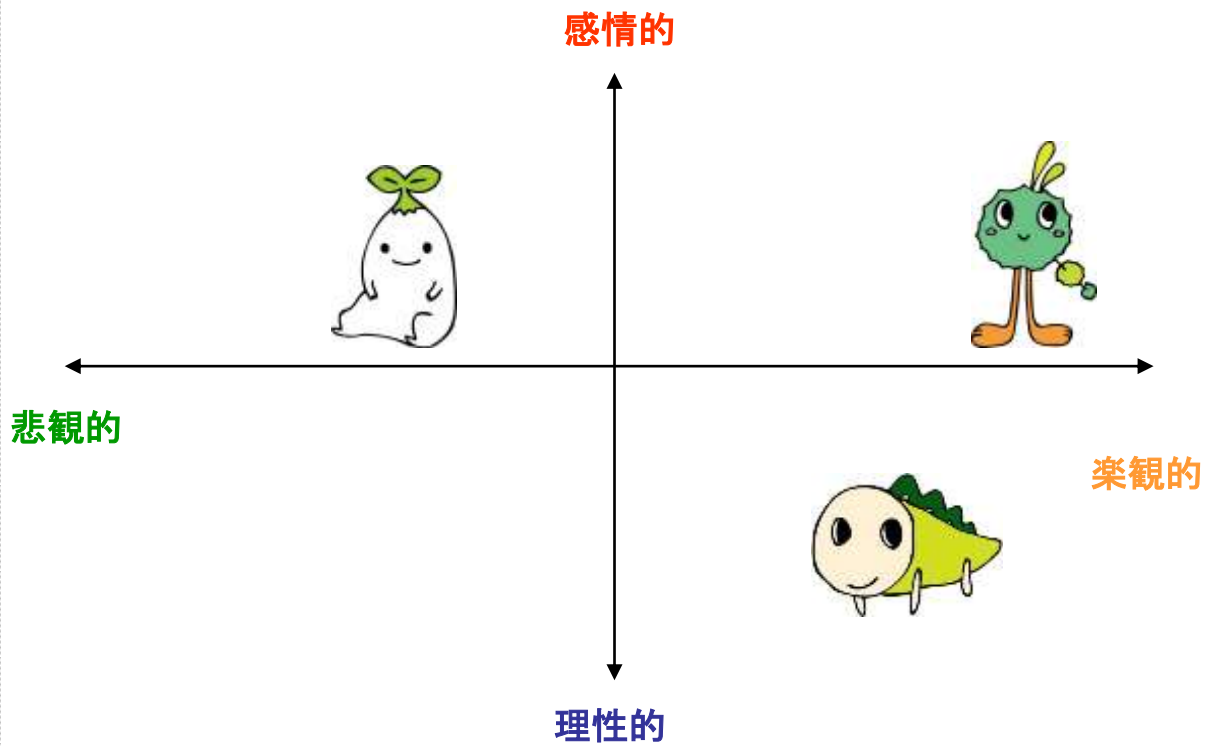


甘えん坊の弟



Character  
Distribution  
Chart

キャラクター  
分布図 



キャラクター  
世界観

なみすけ  
NAMISUKE

歩きながら、元氣と文化が、すぎなみ  
生まれる街。

